

がん診療連携拠点病院等の緩和ケア診療への COVID-19の影響に関する調査結果

国立がん研究センター がん対策研究所 がん医療支援部
都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会

調査概要

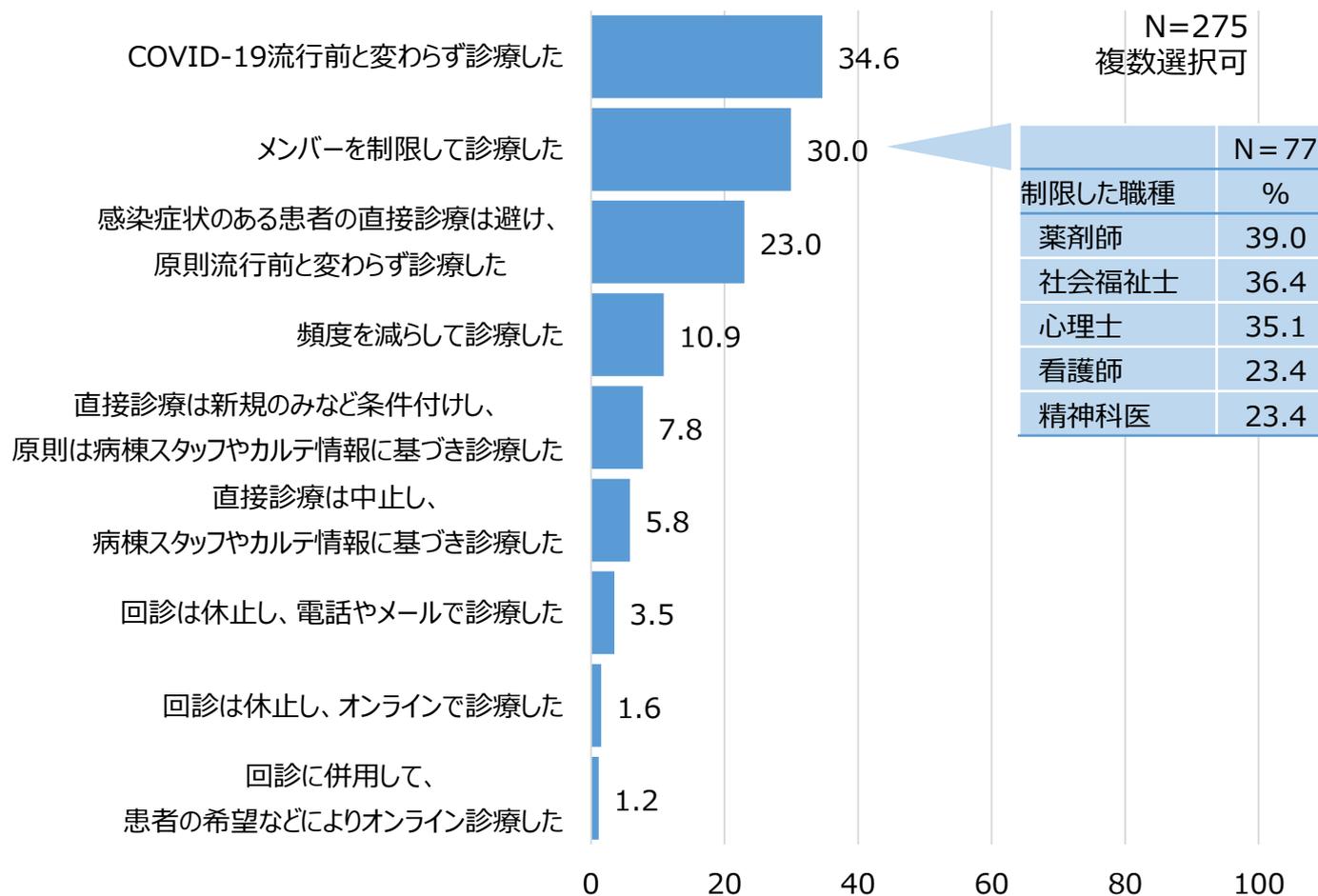
目的	がん診療連携拠点病院の緩和ケア診療への COVID-19の影響を実態把握
対象	がん診療連携拠点病院 全451施設 緩和ケア担当者
期間	2021.10.22-11.15
方法	Webアンケート
内容	2021.8-9 流行時 緩和ケアチーム 緩和ケア外来 の診療状況

結果

回答施設数		No
	都道府県がん診療連携拠点病院	38
	地域がん診療連携拠点病院	198
	地域がん診療病院	21
	計	257 (57%)

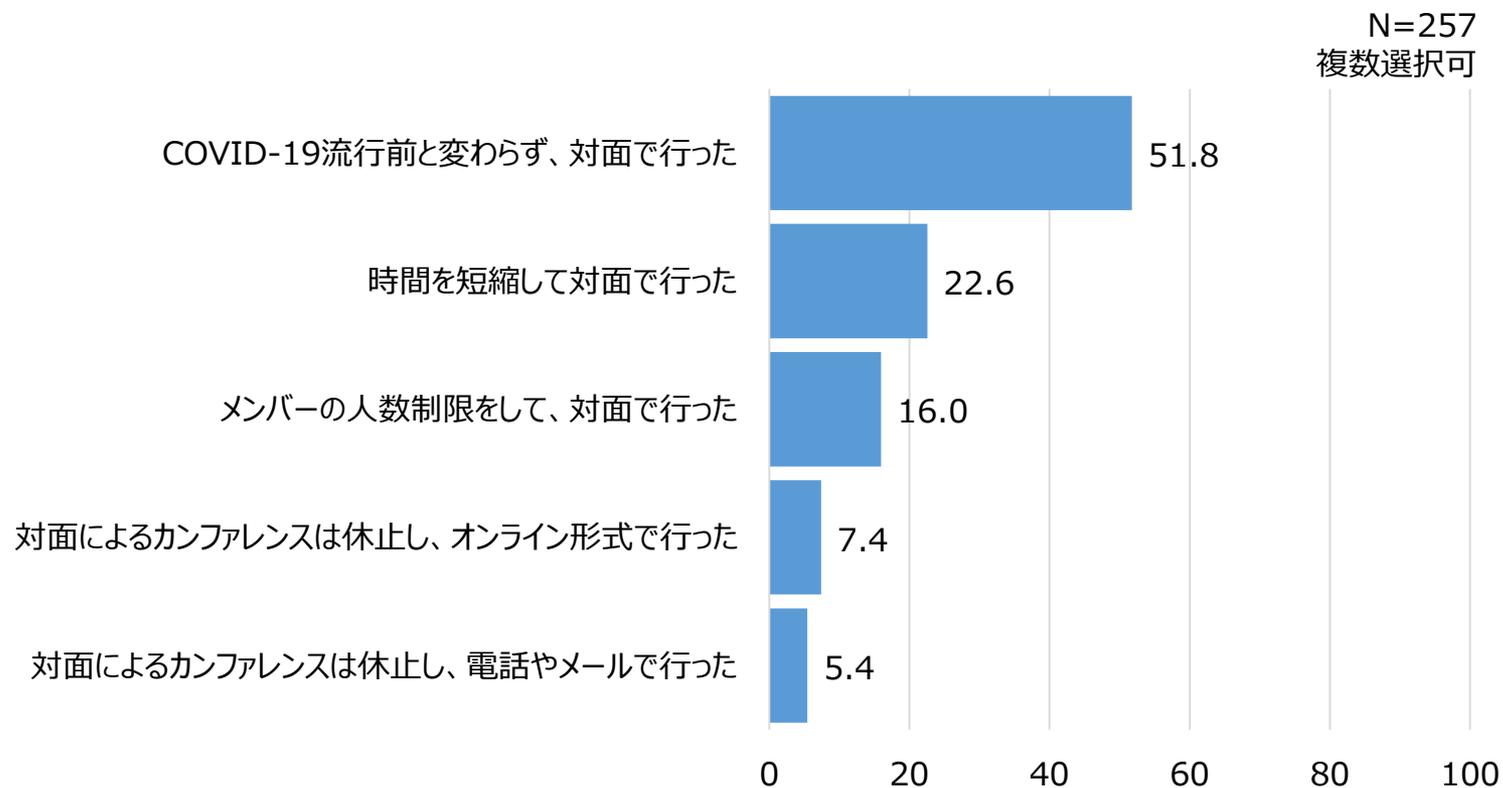
結果

・緩和ケアチームの多職種による病棟回診の方法, %



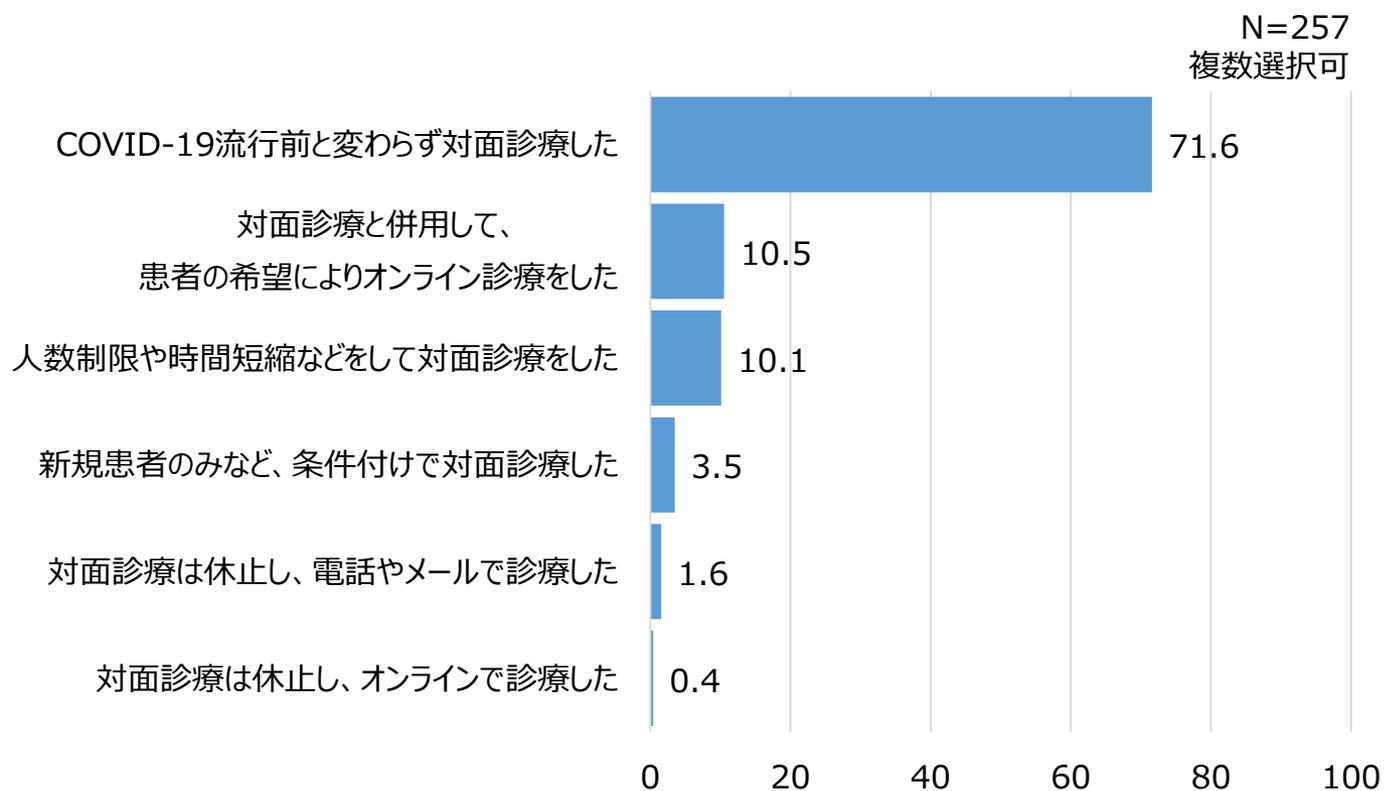
結果

• 緩和ケアチームのカンファレンスの実施方法, %



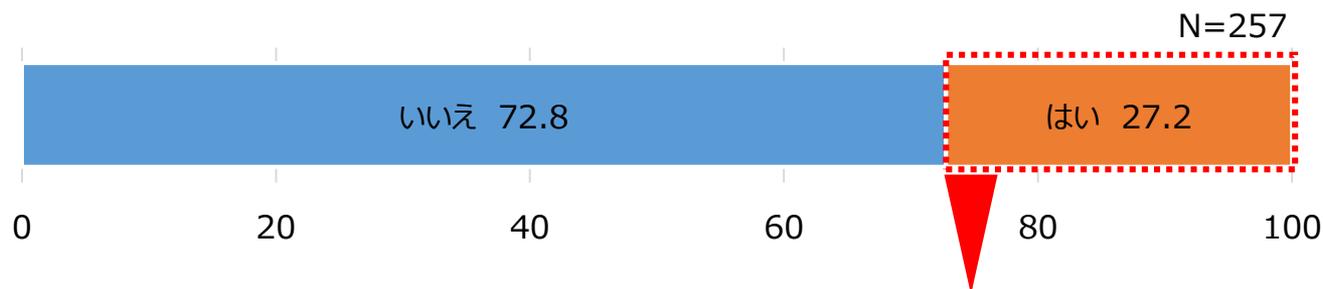
結果

• 緩和ケア外来の診療方法, %

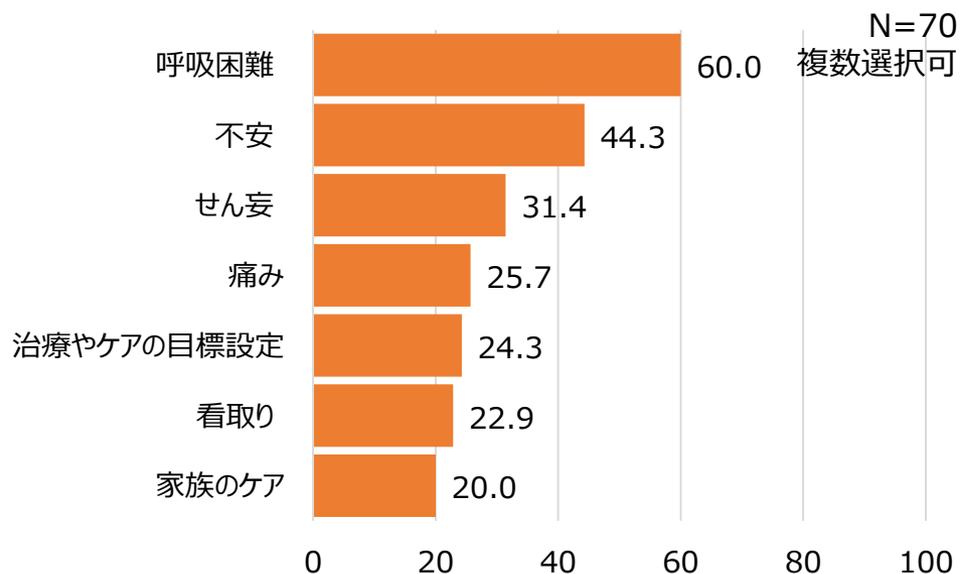


結果

- 緩和ケアチームはCOVID-19患者の診療をしているか, %

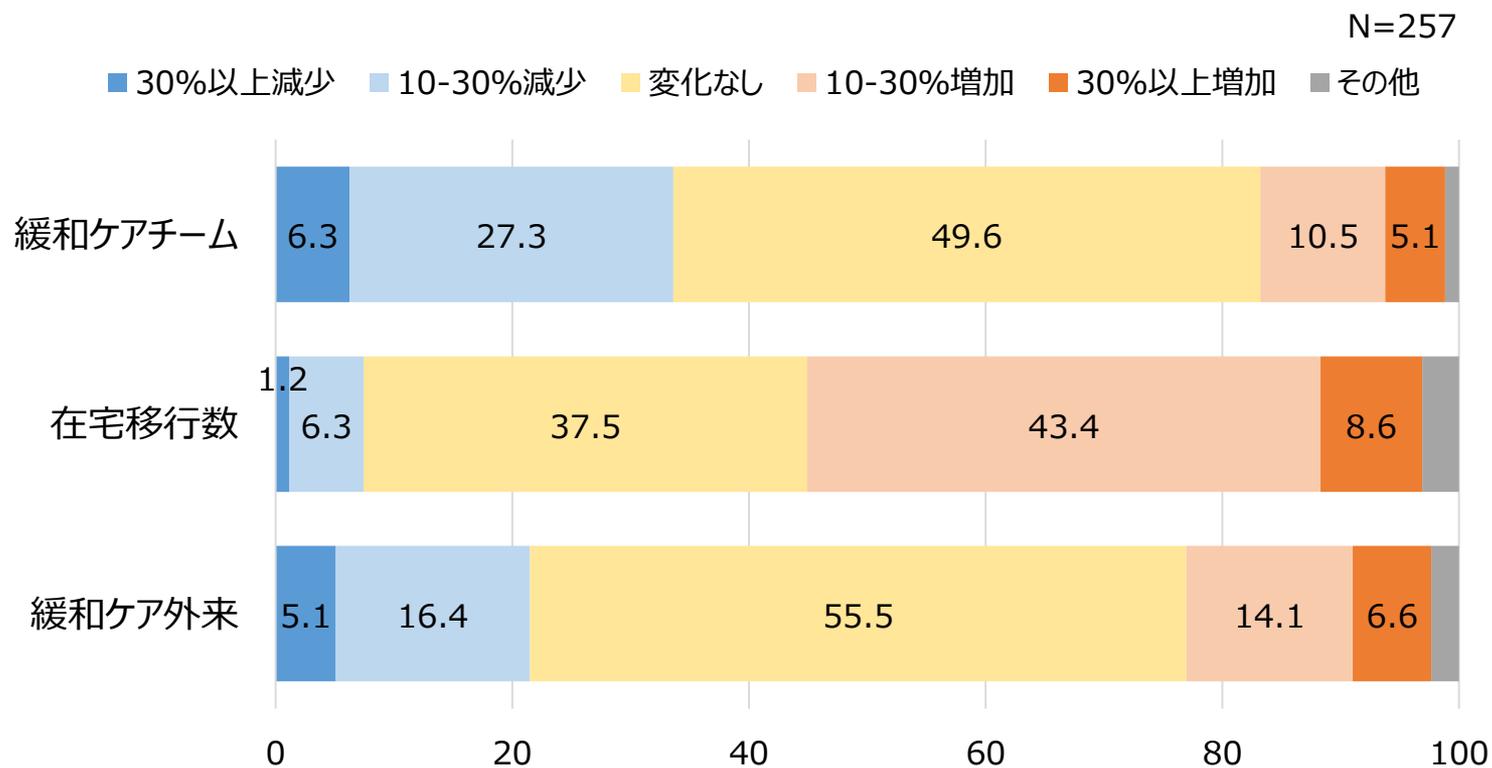


- COVID-19患者のどのような問題に対応しているか, %



結果

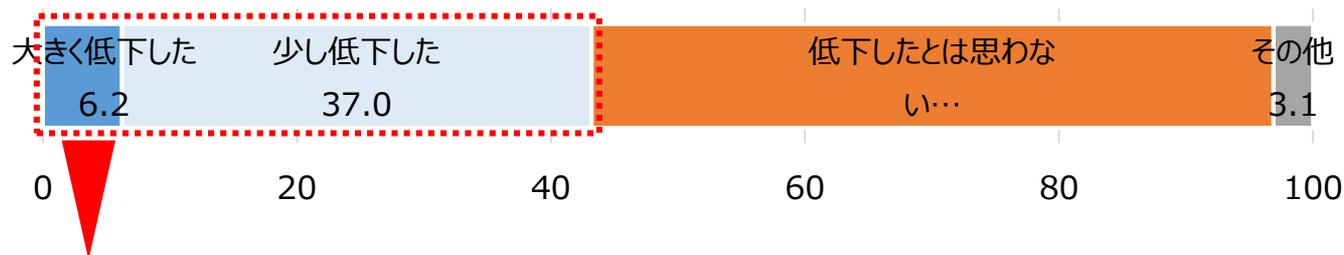
• 診療件数変化の認識, %



結果

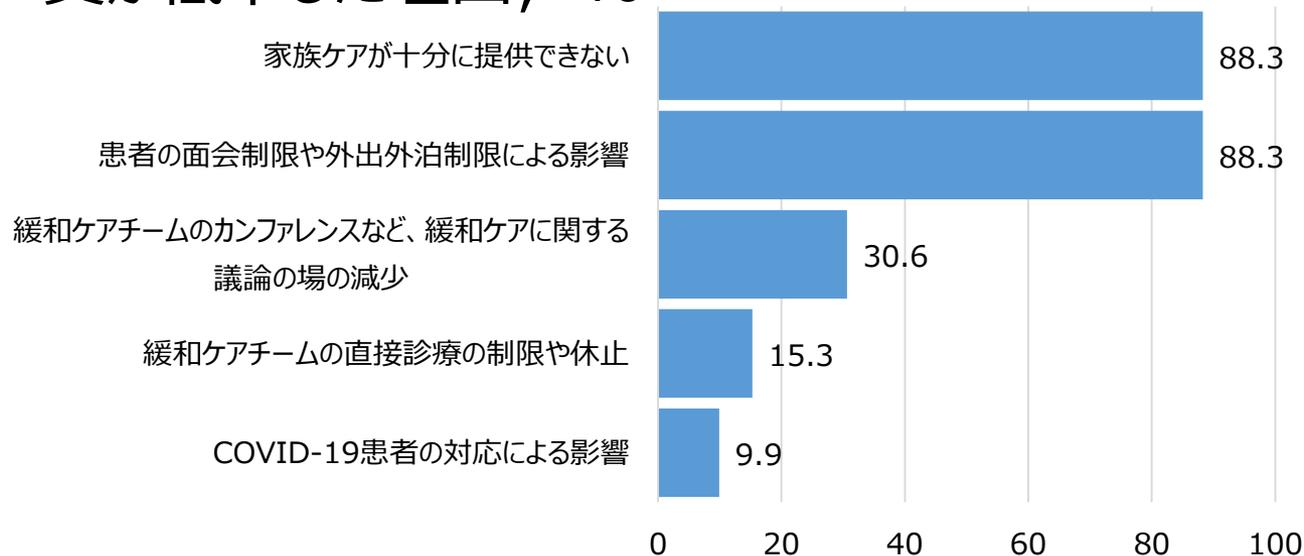
- COVID-19の流行が緩和ケアチームや緩和ケア外来の診療の質に影響したと思うか, %

N=257



- 質が低下した理由, %

N=111
複数選択可



結果 都道府県単位の活動

N=35

●各都道府県の緩和ケア部会の開催方法（今年度）	No
オンライン形式で行っている	28
メール審議で行っている	6
人数制限，頻度減少，時間短縮などで対面で行っている	3
会議は休止している	2
COVID-19拡大前と変わらず、対面で行っている	0

●各都道府県の緩和ケア研修会の開催方法（今年度）	No
人数制限などの感染対策をして、集合型で行っている	16
オンライン形式で行っている	7
COVID-19拡大前と変わらず、集合型で行っている	5
集合型と併用してオンライン形式で開催している	4
開催は休止している	0

緩和ケア病棟へのCOVID-19の影響

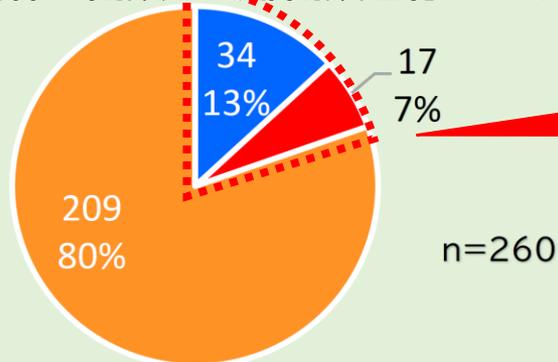
日本ホスピス緩和ケア協会調査2021.11

対象 協会正会員381施設

内容 2021.8-10のPCU状況

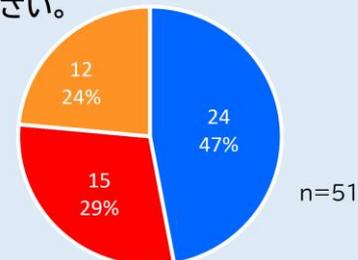
回答 260施設 (68.2%)

1. COVID-19患者の入院受け入れなどのために、緩和ケア病棟の閉鎖や一部閉鎖を行いましたか。



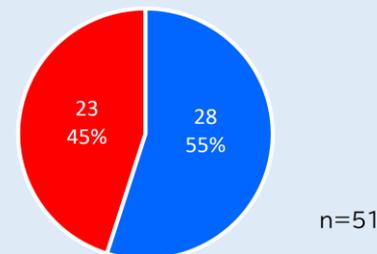
- a. 緩和ケア病棟全体を閉鎖
- b. 緩和ケア病棟の一部を閉鎖 (病床削減)
- c. 行っていない

2. 緩和ケア病棟の閉鎖ないし一部閉鎖を行った理由を教えてください。



- a. 緩和ケア病棟をコロナ専用病棟に転用するため
- b. コロナ受け入れのために病棟スタッフの配置転換を行うため
- c. その他

3. 緩和ケア病棟の閉鎖ないし一部閉鎖は現在(11月1日時点)も継続されていますか？



- a. はい
- b. いいえ

まとめ

- 緩和ケアチームの病棟回診は、COVID-19流行前と変わらず多職種で回診している施設 35%であり、メンバーを制限 30%など、工夫をしている施設が多かった（2020.5の学会調査と比較して活動が6ポイント程度回復傾向）
- 緩和ケア外来の診療は、COVID-19流行前と変わらず対面で行っている施設 72%と多かった
- COVID-19患者の診療を行っている緩和ケアチームは27%であり、主な診療内容は、呼吸困難 60%, 不安 44%であった
- チーム診療患者の在宅移行が増えたと認識している施設 43%と多かった
- COVID-19の流行が、緩和ケアチームや緩和ケア外来の診療の質を低下させたと感じている施設 43%であり、その理由には、家族ケアの不足や面会外出・外泊制限の影響が上げられた
- 今回は、緩和ケア病棟の状況は調査をしていないため、緩和医療学会やホスピス緩和ケア協会の調査結果（参考資料）をご参照ください

日本緩和医療学会 <https://www.jspm-covid19.com/?p=266>